



蒲郡にクルーズ船「アルタニア」が寄港しました！

3月5日（火）、蒲郡ふ頭11号岸壁に外航クルーズ船「アルタニア」が寄港しました。蒲郡への外航クルーズ船の寄港は5年ぶりとなります。

「アルタニア」はドイツの運航会社フェニックス・ライゼンが運航するクルーズ船です。乗客約1,200人を乗せたワールドツアーの真っ最中で、ドイツのハンブルグを出港してから世界各地に寄港し、出港から約5か月後、イタリアに帰港します。蒲郡のあとは四国と九州地方の港へ寄港し、その後、中国や台湾などのアジア諸国をめぐる予定です。

蒲郡ふ頭には露店や体験ブースも設営されており、クルーズ船の観光客はお土産を手に楽しんでいました。



蒲郡地区に寄港した寄港船「アルタニア号」

JICAの研修員が三河港を視察しました

2月29日（木）にJICA※が実施している「港湾戦略運営」の研修の一環として、研修員が三河港を視察しました。本研修は 経済の発展に必要な港湾の整備・運営管理について、講義視察を通して知見を深めることを目指しており、その一環として、日本の重要港湾である三河港の視察が行われました。

視察では、三河港湾事務所の職員より三河港の概要や港湾施設などについて紹介するとともに、ポートインフォメーションセンター「カモメリア」の展望台で三河港を見学しました。その後、全国屈指の完成自動車の取扱港である三河港の自動車取扱施設を見学しました。

参加した研修員は、港湾施設や港に関する制度などに関心を持っており、自国の港をより良くしようとする熱意を感じました。

※JICA（ジャイカ）とは

独立行政法人国際協力機構（Japan International Cooperation Agency）の略称で、日本の政府による公的資金を使った発展途上国への経済協力（政府開発援助）を集約して行う機関です。



視察の様子

三河港湾事務所では、こういった視察以外でも港内見学を募集しています。興味のある方は三河港湾事務所HPをご覧ください。

〈三河港湾事務所HP 港の学習〉

<https://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/gakushu/kengaku/index.html>



〈三河港湾事務所HP〉

みかわこうわん



三河港湾

検索

三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>

三河港湾事務所公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>



国土交通省 中部地方整備局

三河港湾事務所

公式Facebookページ



津波避難訓練に参加しました

3月11日（月）、豊橋市の神野地区防災自治会主催の津波避難訓練に参加しました。

午前10時に大規模な地震が発生し、77分後に三河湾に大津波が到達する見込みとの想定のもと、発災時の避難場所や各事業所等で定めている発災後の行動計画や避難行動等について確認するために行われました。

訓練当日には、市の職員の案内により避難場所の確認や地震体験車による過去の大規模地震の体験などが行われました。

三河港湾事務所の職員も一時避難場所である津波避難ビル（ライフポートとよはし）までのルートの確認や事務所の防災器具の使い方の確認を行いました。

迅速な避難を意識し、障害物となりそうなものを確認しながら、徒歩により避難しました。

原則、徒歩による避難行動が望ましいですが避難困難地域からの避難や避難行動要支援者と避難する場合などは必ずしもこの限りではありません。災害時には臨機応変な対応が求められます。

家の近くの津波避難ビルを確認するなど、日ごろから地震に対する備えをし、防災・減災の対策をしましょう。



避難の様子



津波避難ビルの表示

各自治体でも災害に対する取り組みを行っています。例えば、三河港湾事務所が立地する豊橋市には「豊橋防災ラジオ」があります。豊橋防災ラジオとはエフエム豊橋（84.3MHz）電波を使用して、スイッチが切れていても緊急情報を24時間、いつでも最大音量で受信できるラジオです。また、このラジオでなくてもエフエム豊橋では同内容の緊急情報を聞くことができます。

災害はいつ起こるかわかりません。自分や周りの人の命を守るためにも身の回りにある防災・減災の取り組みについて調べてみましょう。

採用されてからの一年を振り返って

令和5年4月に入省し、三河港湾事務所に配属されました。

私が中部地方整備局港湾空港部を希望したきっかけは港に関わる仕事がしたいと思ったことでした。島国である日本で港は重要な役目を担っています。この島国の衣食住に必要なものが取り扱われている、国の玄関と言っても過言ではありません。そんな港で働きたいと思いました。

この1年間で様々な仕事を経験し、港湾についての知識も身につけることができました。そして、港に関する仕事を通じて日本に暮らす人の生活を支えるという意味を改めて感じることができるようになりました。

来年は採用1年目という肩書はなくなりますが、初心を忘れることなく、さらなる責任感を持ち、成長していきたいと思っています。

企画調整課 高津



イベント対応の様子

海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル

おおいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※ 9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>